

【熊本市出前講座】

「知的障害発達障害を知っていただくための疑似体験ワークショップ」

今年の出動第2弾！ 『くまくま隊』鹿本農業高校へ

7月28日(木)、山鹿市の鹿本農業高校の先生方の夏休み職員研修として
『くまくま隊』を呼んでいただきました。

鹿本農業高校は、なんと107年前の大正3年！に鹿本農学校として開校した伝統ある学校。

1, 2年生は園芸技術科、食品科学科、生活デザイン科の3学科。

3年生になると、施設園芸科、食品工業科、バイオ工学科、生活科学科に分かれて勉強されています。

当日は、夏休みにもかかわらず、生徒さんが当番で登校して農作物の世話をされていました。午後の時間を使っての研修、30人近い先生方が集まっていただき、いくつかのワークを体験していただきました。

研修の最後に、「高校を卒業した後の人生は長いので、障がいのある本人が、その初めの一歩でつまづかないよう、自分の『困り感』を人に伝えることができることを願っている。」とお伝えしましたら、ある先生から、本人（あるいは親も）が「何に困っているのか」意識していない場合もある。どうやって本人に伝えたら、本人が傷つかずに自分の困り感を自覚したうえで、前へ進んでいけるのか日々悩みながらむきあっているとおっしゃっていました。

★出前講座の依頼は、コロナ禍でも徐々に増えております。

私たち子どもたちが、どんなふうに見えるのか感じているのかを体験するプログラムですので、皆さんにもっともっと体験していただきたいと思っております。

西 恵美



ワークショップに使う小道具の数々です

